



福祉学習の際にご利用ください！

福祉・ボランティア 出前講座

本講座は、福祉やボランティア活動についての説明や体験学習を通して、高齢者や障がい者を理解し、「自分には何ができるだろう？」と福祉やボランティア活動について関心を深めることを目的としています。



所要時間

- 1 講座につき **1 時間**（準備、後片付けの時間は含みません。）
- 人数や講座内容などにより 1 時間以上要する場合があります。
- 実施日時は、平日の午前 9 時から午後 5 時までの間です。

場 所

学校や三条市総合福祉センター（三条市東本成寺 2 番 1 号）などの公共施設

費 用

無 料

申込みの流れ

1



実施希望日の
1 か月前までに、
ご連絡ください。
TEL : 33-8511



行いたい内容を
教えてください。
内容により、受入
人数が異なります。



実施日の調整を
行います。
希望日を**複数**
教えてください。

2



出前講座申込書を
提出してください。
申込書は社協HPから
ダウンロードできま
す。
FAX : 33-3004

3



当日の流れなど、
詳細が決まり次第、
担当からご連絡い
たします。

★実施日や内容が未定でも、ご連絡いただければ、講座の方向性や実施方法など一緒に考えさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

社会福祉法人三条市社会福祉協議会 総務福祉係（三条市東本成寺 2 番 1 号）

TEL : 33-8511 FAX : 33-3004

出前講座メニュー

(所要時間：1講座1時間)

対 象

- ①～⑤：小学校及び義務教育学校4年生以上
- ⑥：全学年

デイサービスセンター職員による『介護職のお話し』も可能です。ご希望の方はご相談ください。

① 車いす体験

車いす操作や簡単な介助を体験することで、車いす利用者の気持ちやバリアフリーについて考えます。



※福祉センター以外で行う場合は、車いすの運搬をお願いいたします。

② 高齢者疑似体験

体験セットを装着し、複数のプログラムを体験することで、歳をとることによる心や体の変化について考えます。



③ 目の不自由さ体験

目が見えない状態や、誘導の体験を行うことで、視覚障がい者の気持ちなどについて考えます。



④ 盲導犬ユーザーのお話し

実際に当事者からお話しを聞くことで、相手の気持ちを考えたり、障がいや盲導犬についての理解を深めます。




⑤ ボランティア体験

市内で活動している団体の方が講師となり、説明及び体験を行います。同じ障がいであったとしても、その人によってコミュニケーションの方法は異なります。体験を通して、障がいや『伝える気持ちの大切さ』を考え、さまざまなコミュニケーション方法があることやそれぞれのボランティア活動について学びます。



体験時間は各1時間です。

※体験内容により受入人数が異なります。

| | |
|-------------|--|
| 手 話 | 耳が不自由な方のコミュニケーション方法の1つであり、手の動きだけでなく、顔の表情なども使って表現する言語です。講座では、五十音や数字、あいさつのやり方を学び、手話で自己紹介を体験します。 |
| 要約筆記 | 耳が不自由な方のコミュニケーション方法の1つで、話の内容をその場で文字にして相手に伝えます。手書き（メモやOHPを使用）やパソコン入力など、そのときの状況に応じた方法で行われます。講座では、実際の道具を使用し、体験をします。  |

| | |
|---------------------|--|
| <p>点 訳</p> | <p>手で触って読む文字を『点字』と言い、目の不自由な方が様々な情報を得るための方法の1つです。そして、文字を点字に訳すことを『点訳』といいます。講座では、点字の基礎を学び、実際に点字器を使用して、名前や文章を点字で打つ体験を行います。</p> |
| <p>音 声 訳</p> | <p>目の不自由な方が様々な情報を得るために、新聞や書籍などに書かれている内容等を音声にして伝えます。講座では、音声訳を利用する人が聞きとりやすいような読み方など音声訳の基礎を学び、実際に文章を読み、録音作業を体験します。</p> |



⑥ ユニバーサルスポーツ体験

ユニバーサルスポーツは、障がいの有無や年齢を問わず、誰もが共に参加し、活動できるスポーツのことを言います。

ボッチャや卓球バレーは、チームワークや戦略性、集中力などが求められる競技です。体験を通して、楽しみながらそれぞれの競技の魅力に触れるとともに、障がい者や高齢者など様々な人と共に活動するために大切なことやどのような工夫があると良いのかを考え、理解を深めます。



体験時間は各1時間です。

| | |
|---------------------|--|
| <p>ボッチャ</p> | <p>ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに赤と青のボールを投げたり転がしたりして、いかに近づけることができるかを競います。パラリンピックの正式種目にもなっています。</p> <p>脳や手足に重度の障がいがある人も一緒に活動ができるように工夫がされています。</p> |
| <p>卓球バレー</p> | <p>卓球台と金属球の入った音の鳴るピンポン球を使い、バレーボールのようなルールで、1チーム6人で競います。木の板のラケットでピンポン球を打ち、ネットの下を通過させて相手コートに返します。</p> <p>車いすを利用している人や目が不自由な人も一緒に活動ができるように工夫がされています。</p> |

出前講座の進め方

学校で実施

事前学習



- 児童・生徒と学習のねらいを共有する。

→事前にどのような目的で体験をするのかを理解しておくことで、出前講座当日には、児童・生徒が学びの目的を持ち、主体的に考えながら体験ができます。

- 事前に出前講座で体験する内容（学習テーマ）についてみんなで考え、イメージを持つ。

- ・年をとるとどんな変化が起きると思う？
- ・車いすはどんな人が使っているんだろう？ …など

→事前に学習テーマについて考え、イメージを膨らませることで、児童・生徒が学習に対して興味・関心を持ち、意欲を高めることにつながります。

※体験前に事前学習用の資料等を送付いたしますので、ご利用ください。

社協が実施

体験当日



- 学校や三条市総合福祉センターなどの公共施設で体験学習を実施する。

- 体験を通して、高齢者や障がいについての理解を深める。

・事前学習で考えていたことは、思っていたとおりか、それとも違ったかなどを考えながら体験をすることで、新たな気づきや発見につながります。

学校で実施

振り返り



- 体験を通してどのようなことを感じたか、どのような気づきがあったのか、みんなで意見を出しあう。

- 高齢者や障がいのある人に対して、自分たちにはどんなことができるのかを考える。

- ・高齢者は〇〇なところが△△だと思った。だから自分たちには□□ができると思う。
- ・障がいのある人のために、〇〇が△△のようになると良いと思う。 …など

→体験を振り返り、自分がどのようなことに気づき、何を感じたかを確認します。

そして、そのことを、周りの人と共有することで、互いに刺激を受け、新たな気づきにつながります。また、自分とは違う気づきに触れることで、視野の広がりが期待されます。

※事前に感想シートを送付いたしますので、ご利用ください。